

## 令和4年度第2回人生の最終段階における医療・ケア検討会議 議事要旨

日時：令和5年2月20日（月）午後6時45分～午後8時10分

場所：高知県庁本庁舎 第二応接室

出席者：委員13名（2名欠席）

事務局（在宅療養推進課）4名

### ○協議事項

#### （1）令和4年度の取り組みについて

- ・県の取り組み（資料1）
- ・市町村の取り組み（資料2）

#### （2）令和5年度の取り組みについて（資料3）

### ○議事等概要

#### （1）令和4年度の取り組みについて

##### 【報告】

- ・事務局より、令和4年度の県の取り組み内容について報告を行った。高知市、安芸市の取り組みについて紹介した。

##### 【質疑】

- ・委員より、市町村の取組状況について質問があった。  
事務局より、民間が主体で活動している地域もあるが、行政が地域に人生会議を啓発する方法が分からないという意見もあり、令和5年度は市町村等の関係者を対象に、先駆的な地域の事例を共有する意見交換会を開催したいと考えている、と回答した。
- ・事務局より厚生労働省主催の人生の最終段階における意思決定に関する相談員研修の受講者の活用について、意見を伺った。委員より、研修講師だけでなく、ファシリテーターとして参加するなど、可能な範囲で協力できるようにしては、とご意見があった。
- ・委員より、下記の意見を頂いた。
- ・相談員研修はACPに関わる、地域包括センターや地域連携室の方にも受講頂きたい。
- ・一般の方にとっては「人生会議」という言葉自体がよく分からないので、まずは知っていただいて、将来に向けて準備をするということを考えてもらうことが大切である。
- ・ACPは取り組む時期によって内容が異なるが、事前にACPの認識があるこ

- とで、人生の最終段階において ACP を行うときに導入しやすい。
- ・口から食べることは尊厳でもあり、歯科として介入していきたい。

**【協議】**

令和 4 年度の取り組みについて承認された。

(2) 令和 5 年度の取り組みについて

**【内容等】**

- ・事務局より、令和 5 年度の事業計画について報告した。

**【質疑】**

- ・委員より、市町村の取り組み支援であったかふれあいセンター、町内会、集落活動センターなど人が集まる場所でこまめに啓発を行う必要があるとの意見があった。
- ・委員より、退院時が ACP に取り組むタイミングとして適しており、退院前カンファレンスで医療の方針だけでなく、本人がどう暮らしていきたいかを考えて医師、看護師とも共有していくと良いとの意見があった。
- ・委員より、医療介護の情報連携のシステムに ACP のメニューを追加し、患者の意思を確認する試みについて紹介があった。

**【協議】**

令和 5 年度及び今後の取り組みについて承認された。

今回の協議内容について了承され、以上をもって閉会した。